

## 「レアアース」の価格変化と今後（日本）

### 1. 「レアアース」とは？

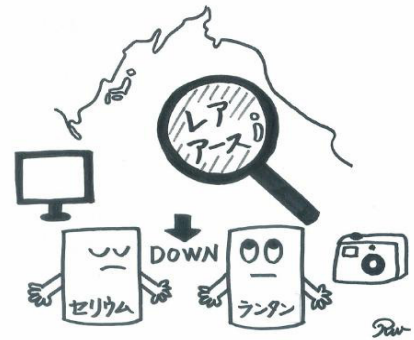
世界中に点在するものの、原料の岩石からの分離が難しく、産出量の少ない17元素の酸化物「レアアース」。例えば「レアアース」は、自動車モーターに使う磁石に微量を混ぜると、性能が大きく向上するといった特性があります。携帯電話の電子部品や太陽光発電パネルなど、ハイテク製品の製造には不可欠です。

### 2. 最近の動向

高騰を続けていた「レアアース」の動きに、最近、変化が生じています。一部の「レアアース」の輸入価格が、急落しているのです。

特に目立つのは、液晶パネルの研磨剤などに用いる『セリウム』。そして、光学レンズに用いる『ランタン』です。『セリウム』は7月につけた最高値から約5割、『ランタン』も同じく3割ほど下落しました。

これは、高過ぎた価格で調達を抑える動きが相次いだほか、「レアアース」と同様の性能を持つ代替品の使用や研究が進んだからです。この結果、需給のひっ迫感が和らいだのです。



### 3. 今後の展開

日本は、必要な「レアアース」の約9割を中国からの輸入に頼っています。ところがこの状態は、中国による生産規制や輸出政策が、日本の産業に大きな影響を与えるリスクを生んでいます。このリスクを小さくするために、経済産業省は、米国のエネルギー省や欧州委員会などと連携。「レアアース」の代替品研究や使用済み「レアアース」の回収や再利用の方法を検討しています。今後、徐々に成果が表れてきそうです。

そして、代替品などの研究と同時に注目されるのが、海の底に眠る大量の「レアアース」です。今年の夏、東大などの研究グループは、太平洋に陸上の約1,000倍(推定)に相当する「レアアース」の巨大鉱床を発見したことを発表しました。文部科学省では、レアアースを含む海底資源の探査のため、調査研究船の開発・建造に着手。総額220億円を投じて、4年後に完成させる計画です。

産業のビタミンとも言われる「レアアース」の確保は、日本の国際競争力の維持・強化の観点からも必要不可欠な戦略、そして大事な先行投資です。今後は、確保する戦略と同時に、製品・製造技術の改良による「レアアース」の使用量削減の試みも求められることになりそうです。

弊社マーケットレポート

検索!!

2011年10月07日【デイリー No.1,091】日本の金融政策(10月)～政策金利を維持、海外の景気判断を下方修正～

2011年09月26日【キーワード No.671】金の価格に連動する「銀・銅」の動き(グローバル)

☆本日の「マーケット・キーワード」のラジオ番組放送内容は、こちら!! ☆

■この資料は、情報提供に限定したものととして、三井住友アセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものでもありません。■この資料に基づいてとられた投資行動等の結果については、三井住友アセットマネジメントは一切責任を負いません。■この資料の内容は発行日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■この資料は、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■この資料におけるデータ・分析等は過去のある一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者及び許諾者に帰属します。

## 【投資信託商品についてのご注意(リスク、費用)】

### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等(外貨建資産には為替変動もあります。)の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、投資信託は預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

### ●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆直接ご負担いただく費用・・・申込手数料 上限3.675%(税込)
  - ・・・換金(解約)手数料 上限1.05%(税込)
  - ・・・信託財産留保額 上限0.5%
- ◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 上限1.995%(税込)
- ◆その他費用・・・監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用(それらにかかる消費税等相当額を含みます。)、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、予めその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由により予め具体的に記載することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友アセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております(当資料作成基準日現在)。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等を必ずご覧ください。

三井住友アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号

加入協会: 社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会

■この資料は、情報提供に限定したものととして、三井住友アセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものでもありません。■この資料に基づいてとられた投資行動等の結果については、三井住友アセットマネジメントは一切責任を負いません。■この資料の内容は発行日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■この資料は、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■この資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者及び許諾者に帰属します。



三井住友アセットマネジメント株式会社